

平成28年度第2回阪南市子ども読書活動推進会議 会議録

開催日時	平成28年12月20日（火） 午後3時
閉会日時	平成28年12月20日（火） 午後4時
会議場所	阪南市立図書館 視聴覚室
出席委員	森本 典子 会長 （阪南市子ども文庫連絡会代表）
	井谷 匡志 副会長 （生涯学習部学校教育課）
	猪俣 健一 委員 （社会福祉協議会代表）
	谷本 美由貴 委員 （阪南市みんなの図書館を考える会代表）
	奥野 ユカリ 委員 （幼稚園代表）
	南 智珠子 委員 （保育所代表）
	宍道 恵子 委員 （子育て総合支援センター代表）
	後藤 陽子 委員 （健康部健康増進課代表）
	油谷 優公 委員 （福祉部こども家庭課代表）
	加藤 靖子 委員 （生涯学習部図書館代表）
事務局出席者	井上 真理 主幹 （生涯学習部図書館）

案件1

委員紹介

水野委員の社会福祉協議会会長退任により、社会福祉協議会の代表が猪俣委員になった。

案件2

今年度の子ども読書活動推進の取組について

A委員

おぎき出会い館にある社会福祉協議会のカフェスペースにまちライブラリーを開設した。まちライブラリーというのは、公共図書館とは違い、おすすめ本をコメントをつけて寄贈し、気に入った本は持ち帰ってもよいという、交流を目的としたライブラリーである。地域交流館まつりで、読みきかせイベントを行ったが、まだまだ認知度も低いため、今後宣伝に努めていきたい。また、地域のカフェ・サロン活動で読みきかせの提案もしていきたい。

B委員

公立保育所では、保護者に向けおすすめの絵本を紹介したいが、忙しい保護者が多く、なかなか目をとめてもらえない。様々な機会をとらえて、読書活動を推進していきたい。

C委員

保健センターに健診に来る親子を見ていると、待ち時間に子どもにスマホを見せている保護者がいる。また、絵本をスマホの画面のように触る子どももいると聞く。これから親になる人に向け、幼い子に対するメディアの弊害とともに、絵本の大切さを伝えていきたい。

D委員

子育て総合支援センターに来る子どもには、必ず保護者が一緒にいるので、保護者に向けた啓発を頑張っている。

会長

自分の娘と孫の様子を見ていると、スマホとは上手に距離を置いて付き合っているように思う。バランスが大切で、スマホをどう扱うかは、結局親の意識の問題である。

E委員	図書館を考える会では、下荘小学校の図書館見学を行った。つくし文庫は、「出前文庫」として統合前の下荘小学校と下荘チビッコホームに読みきかせに出向いていたが、統合後は、訪問を断られている。チビッコホームについては、6年生までになったため、下校時間、帰宅時間がばらばらになり、おはなし会のために子どもを集めることが難しいとのことである。
F委員	公立幼稚園では、全園で週末の絵本貸出を行い、絵本を通じて親子のふれあいを大切にしてもらいたいと思っている。保護者の絵本サークルも活発に活動している。また、新入荷の絵本を紹介するコーナーを作り、絵本との出会いのきっかけとしていきたい。
G委員	図書館では、今年度、紙芝居と絵本の講座を実施した。紙芝居講座のほうは3回連続講座で、のべ53名の参加だったが、絵本講座のほうは2回連続講座に23名の参加であった。母親世代の参加を期待し、公立私立の全幼稚園にチラシを配布したが、あまり効果がなく、予想を下回る参加者数であった。 図書館のコンピュータシステムの更新を行い、ほんナビキッズ、マイ本棚という新たな読書推進の取組が始まった。レビュー投稿機能を利用し、「ふくしほんなん」で紹介した絵本を、図書館のおすすめとして掲載している。今後、レビューを増やしていきたいと考えている。
副会長	初めての取組として、夏休みに、学校図書館司書を本の展示会に派遣し、現物を手に取って、選書する機会を設けた。司書同士が相談しあいながら選書でき、情報共有や、分担購入の面で効果的であった。来年度は、出張旅費を確保し、展示会に出張の形で派遣したいと考えている。 波太と東鳥取の統合により、学校数は減少するが、司書の人数は、現状維持できる予定である。したがって、1校1名配置できる学校が1校増えることになる。
H委員	私立保育園は4園すべてが認定こども園になったことにより、教育部局と保育部局の両立の面で絵本の購入方法を変える動きがある。
事務局	今年度も、昨年同様取組を記録していただき、報告をお願いする。締め切りは来年2月20日（月）である。記録用紙は、この会議の議事録とともに送付する。
案件3	事務連絡
E委員	阪子連では、2月23日にこども支援ステーションハルの方を招いて、発達障害のある子どもについて学ぶ、人権研修会を予定している。
事務局	大阪子ども読書活動推進ネットワークフォーラムと、今森光彦講演会の開催について通知を行った。 次回の会議は6月ごろを予定している。

終了